

手ムニ251

塩水浸漬試験結果

(更新3)

1. 結論
2. 塗膜性能評価方法
 2. 1. 塗板作製条件
 2. 2. 評価方法
3. 塗膜性能評価結果
4. 添付写真

1. 結論

サーモジンチムニ251黒の耐塩水性評価として、塩水浸漬を行いました(2021年8月より継続)。

その結果、現在59週間(10,000h)浸漬時点においてフクレ・ハガレ等の異常が発生していないことを確認できました。

※過去掲載資料

2020.7.17掲載

「チムニ251(チムニ250改良品)耐酸性及び耐塩水性試験結果」

2022.1.11掲載

「チムニ251黒塩水浸漬試験結果 2022.1.11」

2022.2.28掲載

「チムニ251黒塩水浸漬試験結果 2022.2.28」

2. 塗膜性能評価方法

2. 1. 塗板作製条件

<基材>

S P C C - S D (150 × 70 × 2^tm/m)

<素地調整>

ブラスト処理

<塗装方法>

エアスプレー

<複合膜作製>

塗料配合：ベース／硬化剤＝80／20（重量比）

使用塗料	塗装回数	膜厚 (μm ／1回)	中間乾燥	焼成条件
チムニ251黒	3回	60～70	常温 × 1h以上	100°C × 20min

2. 2. 評価方法

<評価方法>

チムニ251を塗布した塗板を塩水(3%)に浸漬させ、塗膜表面の変化(フクレ・ハガレ等)の有無を1週間ごとに確認する。

(室温下: 約20~30°C)

<評価基準>

フクレ・ハガレ等の異常無きこと



3. 塗膜性能評価結果



＜耐塩水性(3%NaCl aq浸漬)59週間(10,000h)＞

フクレ・ハガレ等の異常はありませんでした。

限界測定のため試験は継続中(フクレ・ハガレが発生するまで1週間毎確認)。